

学輪IIDA 10周年記念

いいだがりんgo! だいがく

飯田学  大学 B-3限目

地域分散エネルギー社会づくりにどう取り組むか

今回は、受講者との双方向の勉強会とします。次ページの質問の中から、自分にとって重要と思うもの3つを選んでいただきます(できるだけ、事前に考えてきてください)。参加者の回答をその場で集計し、上位の質問から、時間内に応えられるものについてお答えし、討論したいと思います。その時の資料は、当日参加者に、チャットで送ります。

2022.1.22 17:35~18:35

堀尾正靱

東京農工大学名誉教授、(一社)共生エネルギー社会実装研究所(2020.2.27設立) 所長



「脱炭素」に飯田市民はどう取り組む？

自分に
にとって重
要と思う
もの3つ
を選んで
□に✓

1. なぜ、脱炭素化が必要なのか・自分事にする価値は？

- 1-1 一時の流行ではないか？
- 1-2 経済への影響は心配ないのか？
- 1-3 エネルギーに今どれだけお金を使っているのか？ 対外支払い状況

2. 国の脱炭素政策について

- 2-1 水素社会にシフトすれば日本のエネルギー問題は解決するのか？
- 2-2 アンモニアとかCCSその他新聞やテレビで出てくるものはどうなの？

3. 要するに何をするのか

- 3-1 ゼロカーボン具体化の課題はなにか？
- 3-2 地域の省エネ・再エネ対策は？
- 3-3 飯田には自然エネルギーは十分あるのか？
- 3-4 家庭や業務部門（事務所やコンビニなど）は何をしたらいいのか
- 3-5 地元の企業（建設業、燃料商）、農業者には何ができるのか？